

第2次佐野市観光立市推進基本計画（案）に対する意見募集の結果について

1 パブリックコメントの概況

(1) 意見募集期間

平成27年2月10日（火）～平成27年3月13日（金）31日間

(2) 意見提出者等

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	団体	計
				1	1		2

(3) 提出方法の内訳

郵送	ファックス	Eメール	その他	計
	2			2

2 意見の概要と市の考え方

	意見の概要	意見に対する市の考え方
6ページ (3) 観光資源 - 文化・学習施設について		
1	唐沢山城跡は、国の史跡指定を受けた。そこで、山すその一角にある旧田沼高校跡に唐沢山城跡に関する全ての資料を集めて展示する施設を建設してはどうか。実物は山に登ってみて、資料は下山してから展示施設で説明を聞くことができる。	唐沢山城跡の資料を展示する施設につきましては、市長マニフェスト（元気アップ計画）にて『「活力」あふれるまち佐野』を目指し、唐沢城跡国指定史跡化に伴うビジットセンターの整備を長期的な構想として掲げています。旧田沼高校跡地に設置するかという点においては、現段階では未定ですが、施設整備を所管する教育委員会と情報を共有しながら市内観光と併せた観光誘客に繋がる事業となるよう検討してまいります。
8ページ 4 観光振興に向けての課題		
2	佐野市は、観光資源、交通アクセスについては言うことのないほど充実しているが、観光バス等が訪れる団体客が一度に昼食をとれる施設が見当たらないので、せっかく佐野に来て食事のために他市へ行っているのではないだろうか。そういった施設の誘致等を考えていただきたい。	本市のご当地グルメである、佐野らーめん、いもフライ、そば、大根そば、耳うどんは、佐野ブランドとして観光資源の中核的存在であり、市内外を問わず、広く人気を得ておりますが、そのサービスを提供する店舗のほとんどが大型バスによる団体の受入が困難な状況にあります。 現在、（一社）佐野市観光協会、佐野らーめん会及び観光立推進課が連携し、佐野らーめんを希望する団体客については受入れ対応を行っております。 団体を受け入れるための施設の誘致につきましては、市内飲食関連事業者やバスツアーを行う旅行事業者等と情報交換や協議を行い、本市の食の魅力をより多くの観光客に味わっていただくための方策を検討してまいります。

17ページ (5) 市民・地域との連携強化		
3	<p>本文中の観光資源では、魅力的な都市は街並みが第一だと説明されている。そこで、市の大きなイベントである田沼初午祭をもっと盛り上げるために、「産・学・民・官」が一体となった門前町としてのまちづくりを推進してほしい。</p>	<p>田沼初午祭に代表される本市のイベント・行事は、市民の皆様のお力により古くから行われてきました。</p> <p>田沼町の一瓶塚稲荷神社の魅力を活用した門前町としてのまちづくりを実現するためには、観光分野での事業展開はもとより、商工関連事業者、有識者、市民の皆様や行政が一体となったまちづくりの推進体制を整える必要があります。</p> <p>まずは、観光的視点による一瓶塚稲荷神社の魅力を発信し、市内外の皆様に興味をもってもらえるようPR方法などを検討してまいります。</p>
17ページ (5) 市民・地域との連携強化		
4	<p>「おもてなしの心で観光客を迎えるまちづくりの主役は市民」と本文で謳っている。佐野観光ボランティアガイド協会をはじめ、多くの市民が参加し、佐野市をもっとPRできる方法を具体的に考えてもらいたい。</p>	<p>本市における観光立市とは、地場産業、有識者、市民、行政や関係団体が一体となり全市を挙げた観光誘客を推進することを求めています。</p> <p>ご意見をいただいたとおり、より多くの市民の皆様が参画していただける機会を設けるよう今後の事業展開と併せて検討してまいります。</p>